



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月10日

上場会社名 東京製綱株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5981 URL <http://www.tokyorope.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原田英幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務部長 (氏名) 喜旦康司 (TEL) 03-6366-7777  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	32,214	9.9	1,212	173.9	1,645	156.2	1,222	127.2
2022年3月期第2四半期	29,299	14.5	442	—	642	—	538	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,714百万円(70.3%) 2022年3月期第2四半期 1,594百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	75.83	—
2022年3月期第2四半期	33.40	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	86,773	28,549	32.4
2022年3月期	83,725	26,145	30.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 28,077百万円 2022年3月期 25,502百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2023年3月期	—	0.00			
2023年3月期(予想)			—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	5.0	2,600	60.3	3,000	48.4	2,100	60.7	130.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期2Q	16,268,242株	2022年3月期	16,268,242株
2023年3月期2Q	130,697株	2022年3月期	145,585株
2023年3月期2Q	16,125,121株	2022年3月期2Q	16,108,833株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、役員向け株式交付信託が所有する当社株式 (2023年3月期2Q : 130,200株) を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信 (添付資料) 3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、2022年11月14日に機関投資家向け説明会をライブ配信で開催する予定です。その模様及び説明内容 (音声) につきましては、当日使用する決算説明会資料とともに、後日当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、国内外の防災関連や北米CFCC事業など開発製品関連が好調に推移したことに加えて、諸資材・エネルギー価格高騰への対応として前年度から進めている製品価格改定の効果や為替の影響などにより、32,214百万円（前年同期比9.9%増）と増加いたしました。

利益面においては、CFCC事業の売上増加や為替の影響などにより前年同期からは大きく改善し、営業利益は1,212百万円（前年同期比173.9%増）、経常利益は1,645百万円（前年同期比156.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,222百万円（前年同期比127.2%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## (鋼索鋼線関連)

近年の諸資材・燃料並びに運送費等の値上げに伴うコストアップに対して、適正利潤の確保を図るべく、製品価格の改定を段階的に実施してまいりました。その改善効果の発現と、陸上・海洋関連など繊維ロープの販売が堅調に推移した結果、当事業の売上高は13,195百万円（前年同期比10.0%増）となり、また、繊維ロープ関連の高付加価値製品の売上が上期に集中したことにより、営業利益は995百万円（前年同期比153.5%増）となりました。

## (スチールコード関連)

主に前年度から進めている製品価格改定や輸出品の為替影響により、当事業の売上高は4,700百万円（前年同期比12.4%増）と増加しましたが、エネルギー諸資材が更に高騰し営業損失は470百万円（前年同期は445百万円の営業損失）となりました。

## (開発製品関連)

国内防災関連が前期からの繰越案件消化もあり堅調に推移したほか、海外防災関連の販売拡大、継続中の北米大型プロジェクト対応等で海外CFCC事業の売上が増加したことなどにより、当事業の売上高は8,763百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は315百万円（前年同期比563.0%増）となりました。

## (産業機械関連)

売上については概ね前期横這いとなりましたが、粉末冶金関連において、原材料価格の高騰などの影響により利益が減少いたしました。当事業の売上高は2,050百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は160百万円（前年同期比16.2%減）となりました。

## (エネルギー不動産関連)

原油価格上昇の影響により石油類の販売額が増加したため、当事業の売上高は3,503百万円（前年同期比25.2%増）と大きく増加いたしました。利益面では商業施設の運営費用が増加し、営業利益は212百万円（前年同期比17.4%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は棚卸資産が増加したほか、大幅な円安に伴う海外拠点の財務諸表の為替換算の増加により、前連結会計年度末と比べ3,048百万円増加の86,773百万円となりました。

負債については借入金が増加したため、前連結会計年度末と比べ644百万円増加の58,224百万円となりました。

純資産については、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したほか、為替換算調整勘定が大きく増加したことにより、前連結会計年度末と比べ2,403百万円増加の28,549百万円となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ503百万円増加し、4,929百万円となっております。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を計上し、減価償却費の影響、棚卸資産の増加等により、465百万円の収入（前年同期は981百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得により、1,158百万円の支出（前年同期は715百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、期中運転資金の借入により、875百万円の収入（前年同期は902百万円の

支出) となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績は、当第2四半期連結累計期間における鋼索鋼線関連や開発製品関連の業績が堅調に推移した状況を踏まえ、また、円安進行に伴う為替換算レートの見直し影響なども勘案して通期の業績予想を見直した結果、期初の通期予想を利益面で上回る見込みとなることから、営業利益を2,600百万円(前回予想2,500百万円)、経常利益3,000百万円(同2,700百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益2,100百万円(同1,900百万円)に、それぞれ上方修正しております。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,437	4,939
受取手形、売掛金及び契約資産	15,711	15,827
商品及び製品	6,760	7,711
仕掛品	4,286	4,531
原材料及び貯蔵品	5,062	4,799
その他	1,263	1,784
貸倒引当金	△20	△18
流動資産合計	37,500	39,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,470	7,008
機械装置及び運搬具（純額）	5,210	5,179
土地	18,194	18,206
建設仮勘定	317	305
その他（純額）	1,538	1,585
有形固定資産合計	31,732	32,284
無形固定資産	434	470
投資その他の資産		
投資有価証券	5,947	5,921
退職給付に係る資産	790	976
繰延税金資産	3,312	3,247
その他	4,087	4,395
貸倒引当金	△79	△98
投資その他の資産合計	14,058	14,442
固定資産合計	46,225	47,197
資産合計	83,725	86,773

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,435	12,007
短期借入金	5,377	7,331
未払費用	2,277	2,601
賞与引当金	911	885
その他	5,951	5,586
流動負債合計	26,953	28,411
固定負債		
長期借入金	19,844	19,248
再評価に係る繰延税金負債	3,922	3,922
退職給付に係る負債	4,254	4,185
その他	2,604	2,454
固定負債合計	30,625	29,812
負債合計	57,579	58,224
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	1,070	1,059
利益剰余金	13,566	14,463
自己株式	△283	△259
株主資本合計	15,352	16,264
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	791	670
繰延ヘッジ損益	1	0
土地再評価差額金	9,063	9,063
為替換算調整勘定	778	2,524
退職給付に係る調整累計額	△485	△444
その他の包括利益累計額合計	10,149	11,813
非支配株主持分	643	471
純資産合計	26,145	28,549
負債純資産合計	83,725	86,773

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	29,299	32,214
売上原価	23,671	25,575
売上総利益	5,628	6,638
販売費及び一般管理費	5,185	5,425
営業利益	442	1,212
営業外収益		
受取利息	7	15
受取配当金	137	146
為替差益	73	313
持分法による投資利益	72	80
その他	148	101
営業外収益合計	438	656
営業外費用		
支払利息	138	126
その他	100	97
営業外費用合計	239	223
経常利益	642	1,645
特別損失		
減損損失	42	22
本社移転費用	—	55
投資有価証券評価損	1	—
その他	0	—
特別損失合計	44	78
税金等調整前四半期純利益	597	1,567
法人税等	222	514
四半期純利益	375	1,052
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△162	△170
親会社株主に帰属する四半期純利益	538	1,222

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	375	1,052
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	518	△121
繰延ヘッジ損益	△19	△1
為替換算調整勘定	460	1,397
退職給付に係る調整額	81	39
持分法適用会社に対する持分相当額	177	347
その他の包括利益合計	1,219	1,662
四半期包括利益	1,594	2,714
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,751	2,886
非支配株主に係る四半期包括利益	△156	△172

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	597	1,567
減価償却費	1,081	1,078
減損損失	42	22
本社移転費用	—	55
賞与引当金の増減額(△は減少)	33	△28
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△19	△11
支払利息	138	126
受取利息及び受取配当金	△144	△162
売上債権の増減額(△は増加)	1,124	272
棚卸資産の増減額(△は増加)	△948	△487
仕入債務の増減額(△は減少)	△248	△1,389
前受金の増減額(△は減少)	19	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	△194	△116
その他の資産の増減額(△は増加)	△187	△423
その他	△116	216
小計	1,178	722
利息及び配当金の受取額	144	299
利息の支払額	△138	△126
法人税等の支払額	△202	△374
本社移転費用の支払額	—	△55
営業活動によるキャッシュ・フロー	981	465
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△7	△12
貸付けによる支出	△21	△22
貸付金の回収による収入	18	3
有形固定資産の取得による支出	△682	△966
有形固定資産の売却による収入	37	1
その他	△60	△161
投資活動によるキャッシュ・フロー	△715	△1,158
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
割賦債務の返済による支出	△123	△124
短期借入金の純増減額(△は減少)	577	2,387
長期借入れによる収入	—	300
長期借入金の返済による支出	△1,278	△1,328
配当金の支払額	△0	△322
自己株式の売却による収入	0	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△78	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	△902	875
現金及び現金同等物に係る換算差額	113	321
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△522	503
現金及び現金同等物の期首残高	6,086	4,425
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,564	4,929

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	鋼索鋼線 関連	スチール コード 関連	開発製品 関連	産業機械 関連	エネルギー 不動産関連			
売上高								
外部顧客への売上高	11,998	4,182	8,231	2,089	2,797	29,299	—	29,299
セグメント間の内部 売上高又は振替高	89	155	2	44	303	594	△594	—
計	12,088	4,338	8,233	2,133	3,100	29,894	△594	29,299
セグメント利益又は セグメント損失(△)	392	△445	47	191	257	442	—	442

(注)セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	鋼索鋼線 関連	スチール コード 関連	開発製品 関連	産業機械 関連	エネルギー 不動産関連			
売上高								
外部顧客への売上高	13,195	4,700	8,763	2,050	3,503	32,214	—	32,214
セグメント間の内部 売上高又は振替高	154	161	1	50	393	760	△760	—
計	13,349	4,862	8,764	2,100	3,897	32,974	△760	32,214
セグメント利益又は セグメント損失(△)	995	△470	315	160	212	1,212	—	1,212

(注)セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。